第　７７５　号　　２０２６年１１月１６日（１）

八ヶ岳ジャーナル

株式会社ピー・エス・ワイ
八ヶ岳ジャーナル編集部
発行責任者　小泉　徹
〒408-0112
北杜市須玉町若神子3931
TEL0551-45-7789
FAX0551-35-9200

１９８２年１２月創刊　　発行日：毎月１日と１６日発行

発行地域：北杜市（明野町・須玉町・高根町・大泉町・長坂町・小淵沢町・白州町・武川町）

統合中学設置候補地を説明

来年度、2校の通学計画案提示へ

地域の生徒数減少に伴う中学校の再編を進めている北杜市は、「統合中学校設置場所にかかる説明会」を11月7、10、11日に開いた。市は防災や利便性を考慮した2カ所の候補地を示し、参加した住民からは、通学距離の延伸に伴う負担やきめ細やかな教育の担保、子どもや保護者の声を聞く機会の創出に関する質問や意見が相次いだ。

同説明会は、長坂町の長坂コミュニティ・ステーション、須玉町の須玉ふれあい館（写真）、武川町の甲斐駒センターせせらぎの3カ所で行われ、延べ約350人が参加した。

市立中学校8校を「西学区」（長坂、小淵沢、白州、武川）と「東学区」（明野、須玉、高根、大泉）の新設2校に統合する計画について、市の担当者は、2032年度の生徒数予測から必要な敷地規模を算定し、災害リスクの低さや周辺インフラの充実を条件に加えて学校設置場所の候補地を選出し、地権者交渉といった用地確保の容易さなども考慮して候補地を絞り込んだ過程を説明。

西学区は居住域から車で30分圏内の3カ所、東学区は車で40分圏内の4カ所が候補地に挙がり、昨年5月の中学校再編整備に関わる地域説明会や小中学生へのアンケート調査、総合教育会議などを経て、西学区は「旧峡北高等学校跡地」、東学区は「高根総合グラウンド・体育館」が最適であると判断したと述べた。



説明会に参加した住民からは、通学距離の延伸に伴う影響について、生徒の体力的な消耗や放課後活動への制約、保護者の送迎や経済的負担のほか、通学区域の柔軟な規定を求める意見などが上がり、市は「市民バスといった公共交通の再編も合わせて検討するなど、負担軽減や安全面に配慮した通学体制の構築に努めていきたい」といい、来年度に通学計画案を保護者などに提示する方針を示した。

また、参加者からは、学校の大規模化による不登校生徒への影響やきめ細やかな教育の担保を懸念する声が上がり、市は、「教員配置の増加をきめ細やかな教育へと還元できるよう努める」として、多様な指導形態の導入や組織の連携体制の強化、不登校などに対応する専門職の充実に取り組むとした。

「新しい学校の教育内容や通学体制に関する検討の進捗状況を随時共有して、子どもや保護者の意見を反映させる機会をつくってほしい」といった意見に対しては、新設中学校の開校に向けた準備、検討を行っている準備検討委員会の各専門部会で「部会だより（仮称）」を発行し、広く周知することを計画しているといい、各専門部会の協議においても子どもや保護者など、関係者の意見を聞きながら検討を進めていきたいとした。

旧峡北高校跡地のグラウンドに設置されている太陽光発電設備への対応については、「太陽光発電設備置場所も含め学校用地にしたいと考えており、県や事業者と協議を進める予定」と回答し、「開校時期など、子どもや保護者が見通しを立てられるように推進してほしい」の声には、「場所の決定から5年ほどかかる見込みで、早くて2032年度を考えている。随時情報を共有しながら進めていきたい」と述べた。

北杜市制施行22周年

抱川市が舞踊を披露

北杜市は11月1日、市制施行22周年を祝う記念式典を高根町の八ヶ岳やまびこホールで開き、大柴邦彦市長や国会議員、地元の県議や市議、市民などの約230人が出席した。市の発展に貢献した個人や団体を表彰し、住みよいまちづくりへの決意を新たにした。

オープニングイベントには、姉妹都市の韓国・抱川市から同市立民族芸術団を迎え、宮中舞踊など3つの演目が披露された。「キョンゴム（警鼓）舞」では、伝統衣裳を身にまとった7人の団員が、手持ちの太鼓を叩きながら息の合った軽快な舞いや優美な動きで韓国舞踊の美しさと力強さを表現し、会場から大きな拍手が贈られた。（写真）



式辞のあいさつに立った大柴市長は、「少子高齢化の進行や物価高騰、自然災害の頻発など厳しいなかにあるが、市民一人ひとりが安心して暮らせる社会を守り抜くことは行政の使命」と述べ、妊娠・出産や子育て期の支援策に触れながら、「今年の北杜市の出生数は、令和7年の1222人と比べて20人ほど増える予定で、さらに来年は約40人の増加を見込んでいる」と語った。

また、市立中学校の統合計画をはじめ、75歳以上の人間ドックの助成といった健康増進施策、スマート農業の推進、インバウンドも含めた観光振興、防災機能を備えた市役所本庁舎の整備計画など、市政の状況を説明し、「持続可能なまちづくりを進める」と語った。

表彰状の授与では、さまざまな分野で市の発展や住民福祉に貢献した33の個人や団体を表彰したほか、結婚60年の「ダイヤモンド婚」で24組の夫妻を表彰し、敬意と感謝を伝えた。

〝火〟に注意

園児が火災予防

峡北消防本部などは11月9日、大泉町の市立いずみ保育園で、秋季全国火災予防運動に伴う啓発活動を行った。法被を着用した年長児約30人が元気いっぱいに「火の用心」を呼びかけた。



同日は、園児たちによるフラッグを使ったパレードの披露や防火宣言が行われ、「火を使う時は水を用意してね」や「タバコの火には気をつけて」、「火遊びはしないでね」などと書かれた短冊を付けた風船を空に飛ばした。（写真）

峡北消防本部によると、北杜市、韮崎市、甲斐市の一部（旧双葉町）における今年1月から10月末までの火災発生件数は60件で、うち38件が北杜市内で発生。建物火災が13件、土手焼きによる火災といったその他火災が18件、林野火災が5件などとなっている。

北杜市の地域新聞

八ヶ岳ジャーナル、韮崎ジャーナルがスマートフォンで読める公式ライン「Webtoday」は、右のQRコードから登録できます。　〈編集部　☎0551-45-7789〉

各種教習・講習受付中
来年、卒業を迎える皆さん
免許取得の準備を始めましょう。
NAGASAKA Driving School
長坂自動車教習所
詳しい内容はお電話で！
☎0120-32-0367
☎0551-32-3366





MISAWA 山梨住宅工業株式会社
ミサワホーム山梨工場
〒408-0021
北杜市長坂町長坂上条
2228-5
☎0551-32-3205
330yamanashi.jp
WOOD FIELD group
株式会社 住宅工業
株式会社ティー・アール・アイ
リンクフューチャー 株式会社
株式会社 Laatikko
株式会社 キタハラ
正社員募集中

精密部品加工・切削加工
株式会社 ドーベル
https://www.dober.co.jp
社員募集　職種：機械加工
お問い合わせは下記まで
北杜市長坂町塚川 2427-1
☎0551-32-3699

電池交換すぐ出来ます。
補聴器　貸し出し補聴器で体験して下さい
「北杜市補聴器購入補助金」
ご利用・ご相談承ります。
メガネ　読書の秋
見え方でお困りの方へ
各種レンズのご提案・掛け具合の調整いたします
一級眼鏡作製技能士在籍店です
石川時計店
ISHIKAWA TOKEITEN
北杜市長坂町長坂上条　☎32-2458

www.pika1-dc.com
大泉町石堂交差点近く
Pika1 ぴかいち歯科医院
★土・日曜日 診療しております。
北杜市高根町東井出４９８６−１３７８
院長：奥津 光一朗
【診療内容】
歯科一般・小児歯科
口腔外科
【休診日】　月・金・祝日
【診察時間】（日曜は14:00まで）
9:00〜12:30
14:00〜17:30
お気軽にご相談下さい⇒☎ 0551-46-1101

まちチラ

11 月 16 日号

市内のイベントなどの電子版折込チラシです。

イベント・募集チラシ

詳しい情報は、下のチラシをタップしてください。



第 15 回健康講演会

明治期からの開拓史

苦労や歩みを証言と共に紹介

長坂町の北杜市郷土資料館は、12月14日まで、市内各地の開拓の歴史をまとめた企画展「楽土を拓く～原野に、暮らしを。北杜の開拓史～」を開き、暮らしの基盤をつくった先人たちの苦労や知恵を伝えている。

同展では、冬の寒さが厳しい北杜の地で、作物が育ちにくい酸性土壌や水不足、不十分な衣食住といった過酷な環境のなか、人々がどのように暮らしを築き上げたのか、当時の開拓事業計画や地図といった公的な記録から人々の生活が分かる写真や据風呂桶、開墾鍬（かいこんぐわ）などの道具のほか、開拓2世の証言などを展示して、時代別にその歩みを紹介している。

明治期の章では、山梨県副知事を務めた富岡敬明氏によって養蚕拠点の開拓計画から始まった長坂町日野春・富岡地域の歴史を解説するほか、北杜市から北海道に移り住み、鷹栖（たかす）村の開拓に尽力した人々の功績も伝えている。

また、戦前の章では、第1次世界大戦後から続く不況などで政府や県が農村経済の立て直しに向けた原野の開拓を活発化させるなか、高根町の清里地域で行われた県営の開墾事業について、農民道場の運営をはじめ、ダム建設で古里を消失した人々の入植と八ヶ岳開墾事務所長を務めた安池興男氏の功績を取り上げたほか、米国から来日したポール・ラッシュ氏による指導者訓練キャンプ場の建設や酪農の普及などを紹介している。

戦後の開拓については、人々が暮らしを立て直すための出発点にもなった歴史を振り返りながら、明野町浅尾の「東光開拓」、須玉町江草の「昭栄開拓」、大泉町西井出の「井出原開拓」、武川町柳沢の「真原開拓」、小淵沢町の「大東豊開拓」などの歩みを伝えている。

学芸員の竹内涼さんは、「開拓2世の高齢化が進むなか、歴史の継承に向けて多くの人に知ってもらえたら」と話している。

休館日は火、水曜日。問い合わせは☎32・6498まで。


当時の暮らしの様子が分かる写真や開拓に使われた道具などを展示

女性消防団員

9市の団員が交流

横の連携強化へ

山梨県内で消防・防災活動に取り組む女性隊員を対象にした「山梨県女性消防団員県内交流会」が11月8日、武川町の甲斐駒センターせせらぎで開かれた。北杜、上野原、富士吉田、甲府、中央などの9市から約20人が参加して情報共有や意見交換を行った。（写真）



この交流会は、北杜市消防団本部女性消防隊が今年2月に始めた活動で、今回で2回目。県内の女性消防隊の横のつながりを創出し、ノウハウの共有や技術の向上を図ることで、地域防災力の向上につなげることを目的にしている。

同日は、4市の女性隊員が活動内容を発表。新規採用職員を対象に2年間の消防団入団研修を設けている甲斐市の取り組みをはじめ、地域減災リーダーで発足した「韮崎市女性消防協力隊まもり隊」の新生児への防災グッズ配布や防災教育の実施などが紹介された。

続く意見交換では、各地域における女性消防隊の活動内容や組織体制の違いなどを共有しながら、隊員確保の方法や活動しやすい環境づくり、周知の徹底、地域の理解促進などに関する意見が上がった。

北杜市消防団本部女性消防隊の野沢穂多香隊長は、「今後も広く女性消防団員の交流会を開催して、課題の解決や技術向上につなげていきたい」と話した。

ダイコンまつり

茅ケ岳の麓の火山灰土で育ち、アクが少なくまろやかな甘みが特徴の「浅尾ダイコン」が主役のイベント「第40回北杜市浅尾ダイコンまつり」が11月3日、明野町のハイジの村クララ館で開かれた。（写真）

今年は、実太りの良い大きな浅尾ダイコンが育ち、恒例のダイコン抜き体験には約1300人が参加。甲府市から訪れた宮川信男さん(69)は、「大きくて太い良いダイコンで驚いた」と話し、河中多美子さん（78）は、「野菜が高騰しているなか、お得に美味しいダイコンを手に入れることができてうれしい」と語った。



メイン会場では、飲食や農産物の青空市場をはじめ、市立明野小学校による「明野ソーラン2026」や県立北杜高等学校の書道部とギター部によるパフォーマンスが会場を盛り上げ、1日を通して県内外から約6000人が訪れた。

車イス寄贈

須玉地域親睦ゴルフ大会実行委員会（同実行委員会主催・山中長寿会長）は、11月5日に北杜市役所を訪れ、塩川病院へと、車イス1台を寄贈した。

同実行委員会によると、9月8日にシャトレーゼヴィンテージゴルフ倶楽部で開いた親睦ゴルフ大会の会場で集まったチャリティー活動で、車イスを購入した。昨年は、塩川病院利用者の癒やしに役立ててほしいと光触媒人工観葉植物一式を寄贈している。

マナーアップ運動

子どもたちが事件に巻き込まれるケースが増えている「闇バイト」に注意するよう、11月4日、北杜警察署管内少年補導員連絡協議会（同連絡所協会・小尾靖会長）と北杜警察署、同学校警察補導連絡協議会と合同で、「マナーアップ運動」が実施された。（写真）



JR長坂駅前で行われた出発式で渡辺冨士夫署長は「児童や生徒が犯罪に巻き込まれるといった（事件が）発生しております。市内でそういったことが発生するかもしれないということで危機感を持って、地道な活動を続けたい」と話した。

当日は、生徒などの下校時間帯に合わせて、JR小淵沢駅の3つの班に分かれ、駅前で「闇バイト」の注意を促すチラシや電車内でのマナーアップ活動を実施した。

一方、元プロ野球選手を迎えた野球教室（11月28日）を主催する北杜ボーイズ（中島日出夫監督）の活動を支援するため、渡辺署長が代表して寄付金を贈呈した。

平山郁夫シルクロード美術館

「日本を描く」後編

長坂町の平山郁夫シルクロード美術館で、企画展「平山郁夫日本を描く」の後編が12月20日まで開かれている。平山郁夫さん（1930年～2009年）が旅のなかで出会った日本の風景について、京都の洛中洛外（らくちゅうらくがい）や奈良の古寺、古里・広島の情景を描いた日本画や素描画などを展示している。

同展では、日本文化の源流を求めてシルクロード各地を旅し、多くの作品を手がけてきた平山さんが、その終着点として改めて京都や奈良に目を向けて描いた作品を展示。「自分の生きた時代の京都を自分の手で描き残したい」と、京都の名所や神社仏閣、人々の暮らしを俯瞰（ふかん）的に描いた「平成洛中洛外右隻・左隻」（2003、2004年）は、二条城と京都御所をそれぞれ中心とした2枚の日本画で構成する大作で、訪れる人の目を引く。（写真）

また、奈良を題材とした作品では、「斑鳩里（いかるがのさと）曼荼羅」の制作過程を伝える習作を初公開するほか、活動の拠点にしていた神奈川県鎌倉市や生まれ育った古里の広島県瀬戸田町の情景を描いた素描画、貴重なスケッチなど、計34点を展示している。

同美術館学芸員の中沢紗織さんは、「シルクロードの画家として知られる平山郁夫の終着点として描かれた日本の風景を楽しんでほしい」と話している。

同企画展に合わせ、今年7月に100歳で逝去した妻の平山美知子さんを追悼する特別企画「平山郁夫を支え、共に旅した平山美知子の創作世界」も開催している。会期中無休。詳しくは☎32・0225まで。



やまびこ

★山のクリスマス2026
12月20日に、高根町の八ヶ岳やまびこホールで、原村古楽合唱団・弦楽合奏団によるコンサート「バロック音楽で祝う山のクリスマス2026」が開かれる。グレゴリオ聖歌やシャルパンティエ「真夜中のミサ曲」などを予定している。午後1時30分開場で、前売券は1800円（ペア券3000円、中学生以下無料）。要予約。問い合わせは☎090・9235・8455まで。

■市民運動は変わった
戦争法廃止を求めるオール北杜では、12月5日に「市民運動は変わった」と題した講演会を開く。講師は菱山南帆子さんで、会場は高根町農村環境改善センター。午後1時開場。問い合わせは☎080・6810・2220（高橋）まで。

■里山シンポジウム
北杜SATOYAMAイニシアティブの会では、12月13日に、「北杜SATOYAMAシンポジウム～進化する里山資本主義、北杜の未来は～」を大泉総合会館で開く。講師は藻谷浩介さんで、ゲストに中島恵理さんを迎える。午後1時開場。入場無料。問い合わせはメールhokuto.satoyamainitiative@gmail.comまで。

■大人のための朗読会
11月20日、北杜市すたまの森の図書館で、大人のための朗読会「やまびこ」が開かれる。出演は朗読サークルゆずっこの会で、「和尚と甘酒」、「バスに乗って」などを披露する。午後1時30分開会。問い合わせは☎42・1374まで。

★ジョン・レノンライブ
12月5日に、小淵沢町のペンション月下草舎で「ジョン・レノン・フォーエバー」と題したライブが開かれる。出演はデンプシーロールや八ヶ岳ローガンズなど。参加費1500円で午後6時開場。問い合わせは☎36・4801まで。

■自然観察会
八ヶ岳野鳥クラブは、11月26日に八ヶ岳検定ウオーク「第6回自然観察会 若神子周辺」を開く。午前9時にすたま森の図書館駐車場に集合。資料代300円。詳しくは☎080・6538・2224（竹内）まで。

■エキシビション
11月21日～12月6日まで、小淵沢町のアトリエSHIMIZUで「SHIMIZU FAMILY EXHIBITION Vol.5」が開かれる。午前9時30分～午後5時まで（昼休館）。故清水誠一初期作品「mark painting」のほか、新作を展示する。要予約。問い合わせは☎090・9667・6458（清水）まで。

■俳句・百韻句会
11月28日に、百韻（ひゃくてん）句会が開かれる。今回の吟行場所は小淵沢町の井詰湧水で、午前10時～午後1時まで。午後1時からは長坂町農村環境改善センターで句会を開く。参加費100円。問い合わせは☎080・6689・0851（北杜）まで。

■イロドリ祭
11月28日に、高根総合体育館で、「みんなのほくとまるっとイロドリ祭2026」が開かれる。当日はステージ発表やこどものおみせやさん、スポーツ体験、あそび・ワークショップなど、楽しいイベントが予定されている。午前10時～午後3時まで。詳しくはQRコードから。

白州小学校
食育で〝おにぎり〟開発
児童がコンビニで販売体験

朝ごはんの重要性を学ぶ食育の一環で、市立白州小学校の児童たちが商品開発に携わった「もち麦入りおにぎり」の販売体験が行われ、児童たちが商品の魅力を熱弁した。


セブン-イレブン北杜白州店の来店者に「もち麦入りおにぎり」を紹介する児童たち

この取り組みは、北杜市と穀物メーカーの「はくばく」、コンビニ大手の「セブン‐イレブン・ジャパン」の3者によるもので、特に若い世代で進む朝食の欠食といった課題解決を目的に企画。手軽に栄養が取れる「もち麦入りおにぎり」を子どもたちと開発して広く販売することで、食育の推進や地域全体の食環境の改善を目指している。

開発したもち麦入りおにぎりは2種類で、1つは「もち麦鮭と舞茸」（159円税込）。バター醤油仕立てで、かめばかむほど鮭と舞茸の旨みが広がり、舞茸の煮汁で豊かな香りも楽しめる。もう1つは「もち麦キーマカレー」（159円税込）で、本格的なスパイスを使いつつ、リンゴのすりおろしで甘さを加え、隠し味の熟成味噌でコク深い味わいに仕上げた。

10日は、白州小の5年生14人が市役所を訪れ、大柴邦彦市長らに商品開発で取り組んだことや学んだことを報告し、試食会を実施。また、セブン‐イレブン北杜白州店で行われた販売体験では、児童たちが店頭に立ち、商品のチラシを配布しながら魅力を伝えたほか、品出しなども体験した。

同小の堀内彩さんは、「鮭と舞茸の相性の良さや隠し味の効いたキーマカレー、もち麦のプチプチとした食感を楽しんでほしい。朝が忙しい人などに手に取ってもらい、エネルギーをチャージして1日を元気に過ごしてほしい」と話した。

この「もち麦入りおにぎり」は約1カ月間の販売を予定。市内の各店舗には、児童たちが作成した商品の魅力を伝えるPOPが設置されている。

中部横断自動車道
環境影響評価で公聴会

中部横断自動車道の未整備区間（長坂‐八千穂）における「環境影響評価準備書」について、地域住民などの意見を聞く公聴会が11月7、8日に大泉総合会館で開かれた。

この環境影響評価準備書は、道路建設が周辺地域に及ぼす影響について、どのような項目や方法で調査、予測、評価を行い、環境保全措置を講じるかをまとめたもので、今年2月に住民説明会が行われた。

今回の公聴会は、環境保全の見地からの意見を求めるとして、10月22日まで公述人の申し出を受け付け、沿線住民などの22人が集まった。

同日は、騒音や地下水、光害に関する調査に不足があるとして、現地調査の具体的な取り組みの公表ややり直しを求める意見が述べられたほか、「生活環境や盛り土による眺望への影響がどのくらいあるのか分かりやすく示してほしい」、「事業予定者の実行可能な範囲内でできる限り回避または低減されているとあるが、あいまいな表現で納得できない」といった声もあった。

また、高根町の村山六ヶ村堰について、「水路の保全だけではなく、配水、通水、農地への供給機能もしっかりと守ってほしい。道路が完成したあとも必要な確認を行ってほしい」などの意見が上がった。

公聴会で述べられた意見は、県のホームページに掲載する予定。同公聴会や北杜市、県環境影響評価等技術審議会の意見を踏まえ、来年1月28日までに「知事意見」を述べることになっている。

秋の紅葉満喫
増富ウオーク
北杜市観光協会



年に1度歩くことができる須玉町増富の通仙峡トンネルを抜けると、本谷川渓谷沿いに広がる紅葉が楽しめる「増富もみじ祭りウオーク」が、11月8日に開かれた。

スッキリした青空の中、みずがき湖ビジターセンターに集合して行われるウオークは、10・5㌔のファミリーコース、14㌔のウオーカーコースの2コースが用意され、県内外から約500人が参加。（写真）

黄色や赤色に色づいた塩川ダム周辺や増富ラジウム温泉峡の紅葉を楽しみながら、休憩スポットでは、増富温泉の女将の会のメンバーによる郷土料理がふるまわれた。

スポ少柔道大会
7年ぶり開催



「第20回北杜市スポーツ少年団大会」の柔道部門が11月1日、武川町の北杜市武川体育館で開かれ、小学2～6年生までの24人が参加して日頃の稽古の成果を発揮した。

同柔道大会は、コロナ禍で中止が続き、実施は7年ぶり。武川、双葉、敷島、龍心館の4つの柔道スポーツ少年団が参加し、学年や重量で分かれた4つのグループで総当たり戦を実施し、合同稽古も行った。（写真）

武川柔道スポーツ少年団の山口蓮さん（6年）は、「優勝を目指して稽古をしてきたが、結果は準優勝で悔しかった。合同稽古では、他のチームの選手と乱取りができ、自分の力を試すことができてよかった」と話した。

武川柔道スポーツ少年団は、随時団員を募集している。問い合わせは☎090‐1547‐0719（福井）まで。

◇主な大会結果
▼2～4年軽量グループ①神尾丞（武川2年）②日向叶羽（双葉4年）③名取秋（龍心館3年）
▼3～5年中・重量グループ①前橋徠我（龍心館3年）②滝山健翔（敷島5年）③富田雅（敷島4年）
▼5～6年軽・中量グループ①近藤ゆきな（龍心館6年）②栄金煌生（敷島5年）③米山幸希（龍心館5年）
▼5～6年重量グループ①小林莉歩（龍心館6年）②山口蓮（武川6年）③流石咲弥（双葉6年）

地域の窓をよくしたい！

かんたん・なっとく・あんしん
かんたん 窓・玄関 かんたんリフォーム

今ある窓に 取付ける かんたん マドリモ シャッター・雨戸
※雨戸はMADOショップへお問い合わせください。
施工※1 半日




標準シャッター（リモコン付き）


標準シャッター（手動）

今ある窓を 壁をこわさず 取替える かんたん マドリモ
施工※1 半日



結露対策　断熱対策　日射対策　防音対策　防犯対策

今ある窓に 取付ける かんたん ウチリモ
施工※1 60分



MADOショップの窓・玄関リフォームなら、アイテムポイント＋ショップポイントで
POINT Vポイントが お得に 貯まります。
工事や商品のお買い上げでお得にポイントが貯まります。
貯まったVポイントは、提携先で1ポイント＝1円分としてお使いいただけます。
※1 YKK AP Vポイント対象商品をお買い上げの場合に付与されるポイントです。
※2 工事費の他、お買い上げ金額に応じて付与されるポイントです。（対象店舗のみ）
○一部レートが異なる店舗もございます。
○お支払いの際、お持ちのVポイントが貯まるカードをMADOショップでご提示ください。

たった一日で 壁をこわさず 取替える かんたん ドアリモ
スピード施工 1日※1
見積り無料

省エネ補助金
相談受付中
リフォームしませんか？

台所のリフォーム　お風呂のリフォーム　介護用のリフォーム　間取りのリフォーム

断熱窓・玄関、テラス、エクステリア、樹脂デッキ、各種建築資材、キッチン、バス、トイレ、外壁、各種リフォームの相談や太陽光発電システムなど、家のことならなんでもご相談を承ります。

MADO ショップ　Supported by YKK AP
MADOショップ小淵沢店
株式会社　鈴建資材
〒408-0044　北杜市小淵沢町451
☎0551-36-4400

「人を傷つけない笑い」

オシエルズ・矢島さんが特別授業

「笑いを通して安心できる人間関係を一緒に考えよう」と、市立武川中学校で11月6日、お笑いコンビ「オシエルズ」の矢島ノブ雄さん（39）を講師に迎えた特別授業が行われた。武川中学校と白州中学校の全校生徒約100人が参加し、「いじめ」と「いじり」の違いや人を傷つけない笑い、コミュニケーション術などを学んだ。

「オシエルズ」は、矢島さんと野村真之介さんのコンビで、ともに大学や専門学校で講師を務め、中学・高校での教員経験もあり、全国各地の学校でワークショップや講演会を行っている。

同日の特別授業で、矢島さんは、「笑いは、本来〝ズレ〟を楽しむためにあるもので、互いにそのズレを認め合い、双方向的な関係であることが重要」と語り、いじめといじり（笑い）の境界線を提示しながら、「人を笑うよりも人と笑おう」と呼びかけた。

誰でもできる笑いのつくり方として、「人に物や言葉のプレゼントを贈ること」と語り、事前に生徒たちから募集した「一生に一度は言われてみたい言葉」を使った即興のショートコントを披露。学校を舞台に友人と恋愛話を繰り広げる設定などで、巧みに生徒たちの言葉を入れ込み、会場は笑い声に包まれた。

また、2～6人のグループに分かれ、共通点を探すゲームや一人ずつ単語をつなげて物語をつくるゲームなどを実践。相手に興味を示すことや相手のアイデアを受け入れることの大切さを学び、矢島さんは、「笑いが生まれやすい雰囲気をつくっていってほしい」と語った。


武川中の生徒と即興でショートコントを披露する矢島さん（右）

武川中の生徒会長の輿石陽海さん（3年）は、「ずっと笑って楽しかった。高校に進学したら人数が増えてさまざまな人と出会うので、良い笑い人と笑うことを大切にしたい。お互いが気持ちよくいられるいい関係をつくりたい」と話した。

高齢者が農作業協力

生きがい創出と農業支援へ



北杜市は高根町のNPO法人大志と連携して、高齢者の生きがいづくりと地域農業の課題解決を一体的に進める新たな実証事業を開始した。市内の高齢者が有償ボランティアとして農作業に協力する取り組みで、福祉と地域産業の双方が持続可能となる町づくりを目指す。（写真）

背景には、初回介護認定年齢の若年化や介護認定度の重度化といった福祉課題があり、地域農業への参加による生きがい創出や健康づくりで介護予防の推進を図る一方、農家における繁忙期の一時的な人手不足や物流課題の解消につなげたいとしている。

具体的には、1日2～3時間程度、播種や収穫、選別、出荷準備といった軽中度の農作業を提供する。参加者の健康状態や体力に応じた作業の割り当てで、定期的な健康チェックや介護予防講座なども合わせて行う。

10月27日に高根町の農場で取り組みがスタートし、60代から80代までの8人が参加した。地元のスーパーに卸すジャガイモを「大」と「小」に分ける作業や玉ねぎの苗が植えられた畑の雑草除去に取り組み、最後に作業療法士によるストレッチ講座も開かれた。

参加した高根町在住の安達成正さん（87）は、「地域との交流の場を求めて参加した。作業しながら会話ができたり、体力の向上にもつながるなど、農業は健康にいいと思う」と話した。

今後は月1回程度の開催から始め、参加者の希望に応じて回数や取り組み内容の拡充を図り、受け入れ農家も増やしていくほか、市内の農産物直売所と連携した流通・物流支援の検証などにも取り組むことにしている。

参加は登録が必要。問い合わせは☎42・1336まで。

登録フォーム

AVAで、アワード賞

金精軒「フレッシュ大豆イート」

アジア圏のヴィーガン市場の発展に寄与する個人や団体、企業を称える祭典「アジアン・ヴィーガン・アワード2026」が、11月3日に都内で開かれ、今年新設された「製品（プロダクト）部門」に金精軒株式会社（小野光一社長）で生産・販売している「フレッシュ大豆イート」が、アワード賞に選ばれた。（写真）

今年のヴィーガンアワードには、国内をはじめ、マレーシア、韓国、中国、シンガポールなど、8つの国と地域が参加し、企業部門やカフェ・レストラン部門、メディア部門など、6つの部門で受け付けが行われ、金精軒がエントリーしたプロダクト部門の試食会は8月下旬に行われた。

金精軒が生産する大豆イートは、地域農業とのつながりを大切に、素材を大切に使おうと生まれた商品で、北杜市産大豆を丸ごと使い、大豆本来の味が楽しめる商品になっている。



大豆イートを担当する清水広大マネージャーは、「試食会では、大豆丸ごと製法の商品の用途や既存商品との違いをプレゼンテーションした」といい、「賞に選ばれ、評価いただけた」と話し、27年1月から1年間、認証マークを入れて販売する予定と話している。

入賞した「フレッシュ大豆イート」は、系列施設の「デリカテッセンKoma」店内の販売とオンラインショップ販売しており、「フレッシュソイミート」は料理に合わせて選べるよう「シートタイプ」と「フレークタイプ」の2種類（各200㌘）を用意。価格は740円（税込）。また、関連商品として、大豆の味を菓子感覚で楽しめる「塩味ソイクラッカー」（670円税込）は、金精軒や道の駅で扱っているという。問い合わせは☎30・9023まで。

平和コンサート

ジュピター合唱団



2027年1月29日にスペインのサグラダ・ファミリア地下礼拝堂で「奉納演奏・国際交流コンサート」を予定しているジュピター合唱団（松浦厚司代表）が、12月6日に、八ヶ岳やまびこホールで「サグラダ・ファミリアに響け『平和の祈りスペイン音楽』魂をゆさぶるピアノと歌の饗宴」と題したコンサートを開く。

11月2日に行われたジュピター合唱団の練習には、県内をはじめ、新潟県や長野県、神奈川県からの参加があり、約25人がカタルーニャ語で「光の泉」を練習。発音やパートごとの声量など、体全体を使って表現した。（写真）

6日は、午後1時30分開場で前売券2500円（ペア4000円）。詳しくは☎46・1013まで。

タイヤ交換はお早めに！
※事前電話予約をお願いします
スタッドレス
現品限り タイヤ特売
軽トラック用タイヤ
ブリヂストン（W300 145/80R12LT）
5台限り 4本 33,920円（税込）（工賃込）
ENEOS 松野油店
北杜市須玉町若神子1376
☎(0551)42-2806

幸せを運ぶひつじ年
宛名印刷もいたします。
年賀状
◀ジャーナルの公式ライン登録で年賀印刷代 30%OFF
宛名印刷承ります
年賀はがきもご用意!!
キャッシュレス決済対応しております
スマホで注文できます➡
まだ間に合います
喪中ハガキ
年々増えている家族葬。北杜市の場合でも、3人に1人が家族葬と言われています。家族葬を行なった場合は、知人も「このハガキで知った」という方もいらっしゃいますので、生前のご厚意に対して失礼のない文章で届けたいものです。はがきに込めたい思いも様々ですので、ご相談下さい。
「寒中見舞い」も一緒にご注文いただくと安心です。
資料請求やお問い合わせは
P.S.Y 株式会社 ピー・エス・ワイ 0551-42-2346
営業時間　9時～18時　定休日　祝・日　info@morinchu.jp